



TITLE:

山本有造教授略歴・著作目録

AUTHOR(S):

CITATION:

山本有造教授略歴・著作目録. 人文學報 2005, 92: 223-231

ISSUE DATE:

2005-03

URL:

<https://doi.org/10.14989/48661>

RIGHT:

山本有造教授 略歴・著作目録

I 略 歴

年 月 日

- 1940・9 京都市上京区に生まれる
- 1959・3 滋賀県立彦根東高等学校卒業
- 1959・4 京都大学文学部入学
- 1960・4 京都大学経済学部転部
- 1963・3 京都大学経済学部卒業
- 1963・4 (株)三和銀行入行（高麗橋支店勤務）
- 1964・3 同行依願退職
- 1965・4 京都大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1967・3 同課程修了
- 1967・4 京都大学助手（人文科学研究所・日本部）
- 1973・4 兵庫県立神戸商科大学講師
- 1974・4 同助教授
- 1981・4 京都大学助教授（人文科学研究所・日本部）
- 1987・11 同教授
- 1993・3 京都大学博士（経済学）
- 1997・4 京都大学人文科学研究所長（→1999・9）
- 2004・3 京都大学を停年により退職

II 著 作 目 録

A 著書（単著・共著）

- | 書名 | 発行所 | 発行年月 |
|--|----------|---------|
| 1 『国民所得』（大川一司・篠原三代平・梅村又次・総編集『長期経済統計』第1巻）
（大川一司・高松信清と共著） | 東洋経済新報社 | 1974・9 |
| 2 『貿易と国際収支』（大川一司・篠原三代平・梅村又次・総編集『長期経済統計』第14巻）
（山澤逸平と共著） | 東洋経済新報社 | 1979・2 |
| 3 『日本植民地経済史研究』 | 名古屋大学出版会 | 1992・2 |
| 4 『両から円へ——幕末・明治前期貨幣問題研究——』 | ミネルヴァ書房 | 1994・2 |
| 5 『「満洲国」経済史研究』 | 名古屋大学出版会 | 2003・12 |

B 編 著

- | | | |
|--|-------------|---------|
| 1 『幕末・明治の日本経済』（『数量経済史論集』第4集）
（尾高煌之助と共編） | 日本経済新聞社 | 1988・3 |
| 2 『開港と維新』（『日本経済史』第3巻）
（梅村又次と共編） | 岩波書店 | 1989・3 |
| 3 『産業化の時代』下（『日本経済史』第5巻）
（西川俊作と共編） | 岩波書店 | 1990・2 |
| 4 『「満洲国」の研究』 | 京都大学人文科学研究所 | 1993・3 |
| 5 『（新版）「満洲国」の研究』 | 緑蔭書房 | 1995・4 |
| 6 『帝国の研究 ― 原理・類型・関係 ―』 | 名古屋大学出版会 | 2003・11 |

C 訳 書

- | | | |
|---|-----------|--------|
| 1 J. R. Hicks and N. Nosse『日本経済の構造』
（酒井正三郎・監訳） | 同文館出版 | 1976・6 |
| 2 J. Hughes『世界経済史 ― 工業化の現代史 ―』
（角山栄ほかと共訳） | マグローヒル好学社 | 1977・9 |
| 3 M. de Cecco『国際金本位制と大英帝国』 | 三嶺書房 | 2000・9 |

D 論文（邦文）

- | タイトル | 掲載書 | 発行年月 |
|---|--|---------|
| 1 「国際収支統計の長期総合化について
― 明治元年（1868）-昭和11年（1936）―」 | （京都大学人文科学研究所）1969・3
『人文学報』第28号 | |
| 2 「日本経済の発展と外資 ― 日本資本輸入史序説 ―」 | 『人文学報』第29号 | 1970・2 |
| 3 「投資スパートと資本輸入
― 日露戦争・第一次大戦間を中心に ―」 | （社会経済史学会）『社会
経済史学』第36巻第5号 | 1971・1 |
| 4 「植民地下朝鮮・台湾の域外収支（朝鮮篇）」 | 『人文学報』第35号
（のち改稿のうえ『日本
植民地経済史研究』所収） | 1972・11 |
| 5 「日本の植民地投資
― 朝鮮・台湾に関する統計的観察 ―」 | 『社会経済史学』第38巻
第5号（のち改稿のうえ
『日本植民地経済史研究』所収） | 1972・12 |
| 6 「ホームズ船長の冒険
― 開港前後の長崎・横浜・箱館 ―」 | 坂田吉雄・吉田光邦（編）
『世界史の中の明治維新』
京都大学人文科学研究所 | 1972・12 |
| 7 「戦前期日本の国際収支
― 長期波動分析による試論 ―」 | 『経済研究』第24巻第4号 | 1973・10 |
| 8 「国際収支の長期変動」 | 大川一司・南亮進（編）
『近代日本の経済発展 ―
「長期経済統計」による
分析 ―』東洋経済新報社 | 1975・6 |
| 9 「植民地下朝鮮・台湾の域外収支（台湾篇）」 | 『人文学報』第40号
（のち改稿のうえ『日本
植民地経済史研究』所収） | 1975・12 |
| 10 「日本の資本形成」 | 社会経済史学会（編）
『社会経済史学の課題と
展望』有斐閣 | 1976・3 |

- 11 「日本統治下における台湾・朝鮮の国際収支」 梅村又次・新保博・ 1979・2
西川俊作・速水融（編）
『日本経済の発展 ― 近世から
近代へ ―』日本経済新聞社
（のち改稿のうえ『日本植民地
経済史研究』所収）
- 12 「幕末・明治期の横浜洋銀市場
― その生成と消滅 ―」 新保博・安場保吉（編） 1979・2
『近代移行期の日本経済』
日本経済新聞社（のち改稿の
うえ『両から円へ』所収）
- 13 「明治初年の『円』
― 金円・銀円・紙円に関する予備的考察 ―」 （神戸商科大学）『商大 1981・3
論集』第32巻第5号
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 14 「万延二分金考 ― 幕末・維新期の基準貨幣 ―」 『人文学報』第54号 1983・2
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 15 「内ニ紙幣アリ外ニ墨銀アリ
― 大隈財政期の通貨構造 ―」 『人文学報』第55号 1983・9
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 16 「大隈財政の本態と擬態
― 『五千万円外債案』を中心に ―」 梅村又次・中村隆英（編） 1983・12
『松方財政と殖産興業政策』
国際連合大学（東京大学
出版会・発売）
- 17 「明治前期財政統計における金・銀・紙混計問題について
― 明治14年度正貨予算書の分析を中心に ―」 同上（のち改稿のうえ 1983・12
『両から円へ』所収）
- 18 「『旧日本帝国』の域内・対外貿易マトリックスの作成」 （溝口敏行と共筆） 1984・1
『経済研究』第35巻第1号
- 19 「談叢近代日本関係洋書・VI（A. Carruthers,
The Pet of Consulate, London, 1882）」 『人文学報』第57号 1984・9
- 20 「三人ガワー」 吉田光邦（編）『十九世紀 1985・3
日本の情報と社会変動』
京都大学人文科学研究所
- 21 「金銀本位制論 ― 『貨幣法』成立前史 ―」 『人文学報』第59号 1986・2
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 22 「英領海峡植民地における円銀流通とその終焉」 角山栄（編）『日本領事 1986・12
報告の研究』同文館出版
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 23 「両・円切替期における通貨と記帳
― 大坂・山口家勘定帳および備後府中・
延藤家勘定帳の事例に即して ―」 『人文学報』第61号 1987・3
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 24 「幕末・維新期の通貨構造」 尾高煌之助・山本有造（編） 1988・3
『幕末・明治の日本経済』
日本経済新聞社（のち改稿の
うえ『両から円へ』所収）

- 25 「台湾・朝鮮の資本形成」
溝口敏行・梅村又次（編） 1988・7
『旧日本植民地経済統計
— 推計と分析 —』
東洋経済新報社（のち改稿の
うえ『日本植民地経済史
研究』所収）
- 26 「『帝国』内貿易マトリックス」
（溝口敏行と共筆）溝口・ 1988・7
梅村（編），同上
- 27 「台湾・朝鮮の貿易と国際（域外）収支」
（溝口敏行と共筆）溝口・ 1988・7
梅村（編），同上
- 28 「概説 — 1860 - 1895 年 —」
（梅村又次と共筆） 1989・3
梅村又次・山本有造（編）
『開港と維新』（『日本経済史』
第3巻）岩波書店
- 29 「明治維新期の財政と通貨」
梅村・山本（編），同上 1989・3
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 30 「植民地経営」
中村隆英・尾高煌之助（編） 1989・8
『二重構造』（『日本経済史』
第6巻）岩波書店（のち
改稿のうえ『日本植民地
経済史研究』所収）
- 31 「八十翁貝原益軒の生活と意見
— 『篤信一世用財記』を中心に —」
横山俊夫・藤井譲治（編） 1989・10
『安定期社会における人生の
諸相 — 老人と子供 —』
（財）京都ゼミナールハウス
- 32 「貿易」
（奥和義と共筆）西川俊作・ 1990・2
山本有造（編）『産業化の
時代（下）』（『日本経済史』
第5巻）岩波書店
- 33 「関東州貿易統計論」
『人文学報』第66号（のち 1990・3
改稿のうえ『「満洲国」
経済史研究』所収）
- 34 「日本における植民地統治思想の展開」（Ⅰ）（Ⅱ）
『アジア経済』第32巻 1991・1, 2
第1号，第2号（のち
改稿のうえ『日本植民地
経済史研究』所収）
- 35 「円と元
— 近代幣制史にみる日中文化交渉の一齣 —」
国立台湾大学日本総合 1992・3
研究中心（編）『中日文化
差異研究会論文集』国立
台湾大学日本総合研究中心
- 36 「『満洲国』をめぐる対外経済関係の展開
— 国際収支分析を中心として —」
山本有造（編）『「満洲国」 1993・3
の研究』京都大学人文科学
研究所（のち改稿のうえ
『「満洲国」経済史研究』所収）
- 37 「『大東亜共栄圏』構想とその構造」
古屋哲夫（編）『近代 1994・3
日本のアジア認識』
京都大学人文科学研究所
- 38 「貨幣制度・貨幣政策」
西川俊作・尾高煌之助・ 1996・1
斉藤修（編）『日本経済の
200年』日本評論社

- 39 「財政・財政政策」 (持田信樹と共筆) 西川・ 1996・1
尾高・斉藤(編), 同上
- 40 「『満洲国』生産力のマクロ的研究・序説
—「満洲国産業生産指数」の検討を中心に—」 『経済研究』第47巻 1996・4
第2号(のち改稿のうえ
『「満洲国」経済史研究』所収)
- 41 「『大東亜金融圏』論」 『人文学報』第79号 1997・3
- 42 「『朝鮮』・『満洲』間陸境貿易論
—地域間関係史のひとつの試み—」 (年報・近日本研究19) 1997・11
『地域史の可能性
—地域・日本・世界—』
山川出版社(のち改稿のうえ
『「満洲国」経済史研究』所収)
- 43 「『満洲国』農業生産力の数量的研究」 『アジア経済』第38巻 1997・12
第12号(のち改稿のうえ
『「満洲国」経済史研究』所収)
- 44 「植民地統治における『同化主義』の構造
—山中モデルの批判的検討—」 『人文学報』第83号 2000・3
- 45 「日本植民地帝国と東アジア」 古屋哲夫・山室信一(編) 2001・1
『近代日本における東アジア
問題』吉川弘文館(のち
改稿のうえ『「満洲国」
経済史研究』所収)
- 46 「『満洲国』
—ある歴史の終わり、そして新たな始まり—」 季刊『環』Vol.10 2002・夏
- 47 「『満洲国』鉱工業生産力の水準と構造」 『人文学報』第88号 2003・3
(のち改稿のうえ『「満洲国」
経済史研究』所収)
- 48 「帝国とはなにか」 山本有造(編)『帝国の 2003・11
研究』名古屋大学出版会

E 論文(英文)

- 1 "Trade and Balance of Payments" (with Ippei Yamazawa) 1979
in Kazushi Ohkawa and
Miyoei Shinohara eds.,
*Patterns of Japanese
Economic Developmen*,
Yale University Press
- 2 "The Balance of Payments of Taiwan and Korea
under the Japanese Rule" *Zinbun*, Memoirs of the 1982
Research Institute for
Humanistic Studies,
Kyoto University, No.18
- 3 "Capital Formation in Taiwan and Korea" (with Toshiyuki 1984
Mizoguchi) in R. H. Myers
and M. R. Peattie eds.,
The Japanese Colonial Empire,
1895-1945, Princeton
University Press
- 4 "Japanese Empire and Colonial Management" in T. Nakamura and 2003
K. Odaka eds., *Economic
History of Japan 1914-1955:*
A Dual Structure, Oxford
University Press

F 書評・選評

- | | | |
|--|----------------------|-----------|
| 1 「中村隆英（編）『戦間期の日本経済分析』」 | 『史学雑誌』第91編
第2号 | 1982・2 |
| 2 「近代日本研究会（編）『幕末・維新の日本』」 | 『社会経済史学』第48巻
第3号 | 1982・8 |
| 3 「佐藤雅美『大君の通貨』」 | 『エコノミスト』第63巻
第7号 | 1985・2 |
| 4 「小野一一郎（編）『戦間期の日本帝国主義』」 | 『社会経済史学』第52巻
第4号 | 1986・11 |
| 5 「浅田喬二・小林英夫（編）
『日本帝国主義の満州支配』」 | 『アジア経済』第28巻
第5号 | 1987・5 |
| 6 「浅田喬二『日本植民地研究史論』」 | 『アジア経済』第31巻
第12号 | 1990・12 |
| 7 「杉山伸也『明治維新とイギリス人』」 | 『三田学会雑誌』第87巻
第4号 | 1995・1 |
| 8 「Toshio Suzuki, <i>Japanese Government Loan Issues
on the London Capital Market, 1870-1913</i> 」 | 『社会経済史学』第61巻
第3号 | 1995・8 |
| 9 「正田康行（編）『「南方共栄圏」
——戦時日本の東南アジア経済支配——』」 | 『アジア経済』第37巻
第2号 | 1996・2 |
| 10 「杉原薫『アジア間貿易の形成と構造』」 | 『日本経済新聞』 | 1996・11・3 |
| 11 「平井廣一『日本植民地財政史研究』」 | 『季刊経済学論集』
第64巻第1号 | 1998・4 |
| 12 「谷本雅之『日本における在来的経済発展と織物業』」 | 『日本経済新聞』 | 1998・11・3 |
| 13 「権上康男『フランス資本主義と中央銀行』」 | 『日本経済新聞』 | 1999・11・3 |
| 14 「『1940年体制』は金日成によって完成された、か？
——木村光彦『北朝鮮の経済』を読んで——」 | 『創文』第417号 | 2000・1, 2 |
| 15 「『満洲国』はいかにつくられたか
——山田豪一『満洲国の阿片専売』——」 | 『東方』第268号 | 2003・6 |
| 16 「金洛年『日本帝国主義下の朝鮮経済』」 | 『社会経済史学』第69巻
第2号 | 2003・7 |
| 17 「中林真幸『近代資本主義の組織』」 | 『日本経済新聞』 | 2003・11・3 |

G 目録・資料類

- | | | |
|--------------------------------------|--|---------|
| 1 『石田興平博士旧蔵・満洲関係文献目録』 | 神戸商科大学・
山本研究室 | 1978・12 |
| 2 『「張公権文書」目録』 | （井村哲郎と共編）
アジア経済研究所 | 1986・3 |
| 3 『「満洲」関係経済文献目録』 | （溝口敏行・松本俊郎・
高橋益代と共編）京都大学
人文科学研究所・山本研究室 | 1992・3 |
| 4 『〈近代日本の南方関与〉に関する
戦後日本刊行文献目録（稿）』 | （盛田良治と共編）
京都大学人文科学研究所・
山本研究室 | 1999・3 |

H ワーキング・ペーパー

- 1 *Japanese Balance of Payments 1868-1967: Data and Findings* Kobe University of Commerce Working Paper, No. 24 1975・8
- 2 『対「満洲国」投資額に関する若干の推計資料について』 神戸商科大学経済研究所・研究資料, No. 5 1977・5
- 3 *Colonial Investments of Japan Empire* (with Toshiyuki Mizoguchi) Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, Discussion Paper Series, No. 13 1979・2
- 4 『スタンフォード大学フーバー研究所文書室所蔵・張公権文書について』 神戸商科大学経済研究所・研究資料, No. 26 1980・5
- 5 『「満洲国」国際収支に関する既存資料について』 神戸商科大学経済研究所・研究資料, No. 27 1980・6
- 6 『「旧日本帝国」の域内・対外貿易マトリックスの作成 [I]』 Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, Discussion Paper Series, No. 53 1982・2
- 7 『「満洲国」国民所得統計について』 一橋大学経済研究所 中核的拠点形成プロジェクト (アジア長期経済統計データベースプロジェクト) Discussion Paper, No. D 97-6 1997・7

I 調査報告・研究報告

- 1 「太平洋戦争下『満洲国』経済の概観 — 工業化問題を中心に —」 『中国東北地方経済に関する調査研究報告書』 産業研究所 (アジア経済研究所) 1986・3
- 2 「国民政府統治下における東北経済 — 1946 ~ 1948 年 —」 同上 1986・3
- 3 「幕末・明治前期の貨幣構造」 (委託研究報告) 日本銀行 金融研究所 1987・6
- 4 『「満洲国」国民所得統計について』 『第2次大戦下の日本経済の統計的分析』 (平成2-4年度科学研究補助金・総合研究A・研究成果報告書) 一橋大学経済研究所・溝口研究室 1993・1

J 執筆分担・執筆協力

- 1 『滋賀県史 (昭和篇)』 第2巻行政篇 (第3章「財政」執筆) 滋賀県 1974・11
- 2 『日本近現代史辞典』 (「外債」「外資導入」「為替管理」「外国為替管理法」の項目執筆) 東洋経済新報社 1978・4

- 3 『満州中央銀行史』 (執筆協力および校閲) 1988・11
東洋経済新報社
- 4 『日本史文献事典』 (『「満洲国」の研究』 2003・11
『日本植民地経済史研究』
『両から円へ』『殖民及殖民
政策』の項目執筆) 弘文堂

K 講演会・討論会・座談会記録

- 1 「QEHI 研究会記録」第1回～第5回 『日本経済研究センター 1971・7, 8, 12,
会報』第156号, 158号, 1972・2, 4
165号, 169号, 173号
- 2 「安場報告へのコメント」 社会経済史学会編 1979・4
『エネルギーと経済発展』
西日本文化協会
- 3 「(講演) 工業化発展における中心国と周辺国」 『人文』第25号 1982・3
- 4 「特集・経済史への新しい接近」 『季刊・現代経済』第47号 1982・4
- 5 「(名誉教授インタビュー) 堀江保蔵名誉教授に聞く」 『経済論叢』第135巻 1985・4
第4号
- 6 「江戸末期(文政～幕末・維新时期)における
物価動向と経済発展」 原田敏丸・宮本又郎編 1985・10
『歴史のなかの物価』同文館
- 7 「高増傑報告へのコメント」 『世界の中の日本』I 1989・2
(国際シンポジウム 第1集),
国際日本文化研究センター
- 8 「日本の経済発展に於ける『超長期雁行形態モデル』」 浜下武志・川勝平太編 1991・6
『アジア交易圏と日本工業化
— 1500-1900 —』
リポート
- 9 「岩橋報告へのコメント」 『金融研究』第17巻第3号 1998・7
- 10 「(講演記録) 人文・社会科学と共同研究」 関西大学法学研究所 1998・12
『ノモス』第9号
- 11 「(フォーラム) 日本における社会経済史学の発展と
新保史学 — 数量経済史研究への軌跡 —」 神戸大学経済経営学会 2004・1
『国民経済雑誌』第189巻
第1号

L その他

- 1 「(研究ノート) 日本におけるジャーディン・マセソン商会」 『人文』第3号 1971・8
- 2 「(共同研究の話題) 情報の経済史をもとめて
— 日本領事報告の研究班 —」 『人文』第26号 1982・9
- 3 「父のこと」 (山本安次郎博士喜寿 1982・10
記念文集) 『めぐりあい』
経営学理論研究会
- 4 「『幕末在留西洋人人名録』のこと」 『毎日新聞(夕刊)』 1984・2・9
- 5 「円とドルの百年史」 『NHK 歴史ドキュメント』 1987・2
第4巻, 日本放送出版協会
- 6 「『将軍』牌と Shrap 印」 『人文』第33号 1987・3

山本有造教授 略歴・著作目録

7 「1988年7月中国東北地区における2つの 学術討論会への参加記」	『近きに在りて』第14号	1988・11
8 「堀江保蔵先生を偲ぶ」	『経済論叢』第148巻 第4・5・6号	1991・10・11・ 12
9 「台湾インテレクチュアルズと日本語」	『人文』第38号	1992・3
10 「イタリア掃苔の旅」	『Corrènte (日本イタリア 京都会館々報)』第115号	1992・12
11 「私の集書旅行」	『岩波講座・近代日本と 植民地』第2巻・月報	1992・12
12 「落伍者からの謝辞」	『青碧』第19号 (青山秀夫先生追悼号)	1993・4
13 「不機嫌の吉田光邦先生」	『吉田光邦・両洋の人 —八十八人の追悼 文集—』思文閣出版	1993・11
14 「洋銀と円」	『日本歴史館』小学館	1993・11
15 「上賀茂煎茶会」	『以華為信』	1994・3
16 「『藤』にまつわる個人的な感懷」	『藤・二十周年記念文集』	1995・7
17 「人文研の共同研究」	『京大広報』第493号	1995・11
18 「『満洲国』マクロ経済統計について」	(一橋大学経済研究所 中核的拠点形成プロジェクト) 『アジア長期経済統計データ ベースプロジェクト・ ニュースレター』No. 5	1997・4
19 「『両』から『円』へ——幕末貨幣学のすすめ——」	『AERA Mook・幕末学の みかた』朝日新聞社	1998・4
20 「回顧十年」	『近現代東北アジア地域史 研究会ニュースレター』 第11号	1999・12
21 「『中華民国期の経済統計』ワークショップ観戦記」	『アジア長期経済統計 データベースプロジェクト・ ニュースレター』No. 15	2000・1
22 「坂田吉雄氏の訃」	『日本歴史』第631号	2000・12
23 「『日本帝国史』への途 ——『日本植民地帝国』の経済史的研究——」	京大学人文科学研究所 『人文科学のフロンティア』	2002・3
24 「石田興平博士と石田文庫」	大阪経済大学日本経済史 研究所『経済史研究』 第7号	2003・3